

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2021年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務				作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱								
工期	令和3年11月1日 ~ 令和4年3月31日				作成者	鈴木悠平								
作業名称	コンクリートブロック荷下ろし			作業手順書	作成年月日	令和3年11月1日								
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	クレーン付トラック(4t積2.9t吊)				改正年月日									
					現場責任者	自筆サイン								
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	ロープ、テラスンダー、ライト				協力会社	会社名								
					協力会社責任者	自筆サイン								
保護具	ヘルメット、手袋、安全帯				作業順序									
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	①自動車運転免許証(中型)、②小型移動式クレーン技能講習、③玉掛技能講習、									1	現地確認			
										2	準備作業			
										3	荷下ろし			
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	①作業責任者 1人、②作業員 1人、③小型移動式クレーン操作者 1名									4	後片付け			
	合計 3名									5				
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日	令和3年11月1日						6				
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)									7				
					8									
リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者								
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知						
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示							
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認							
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認							
					××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要							
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知													
作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)					
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)											
現地確認														
	(①) 作業箇所確認	危険ポイントの確認												
	(①) 周辺安全確認	構造物の確認												
準備作業														
	(①、②、③) ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認												
	(①、②、③) 車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認												
荷下ろし ※別紙 クレーン作業計画書														
	(②、③) 荷下ろし	クレーンによる作業	吊荷に落下により作業員が下敷きになる。	△	×	△×	4		介助ロープなどを使用し吊荷の下には入らない。					
	(②、③) 荷下ろし		荷下ろし時に介助者が転落する		△	×	△×	4		荷下ろし箇所の照度を確保する。				
	(②、③) 荷下ろし	手作業による 荷下ろし作業	吊荷に落下により作業員が下敷きになる。	△	×	△×	4		介助ロープなどを使用し吊荷の下には入らない。					
	(②、③) 荷下ろし		荷下ろし時に介助者が転落する		△	×	△×	4		荷下ろし箇所の照度を確保する。				
後片付け														
	(①、②、③) 車両洗車 道具整備・後片付け	道具の損傷有無確認												